

一般社団法人

# 全国 若年認知症家族会 支援者連絡協議会だより

No.2

**若**年認知症とは、「18歳から64歳の年齢で発症した認知症の総称」です。平成29年度に全国調査が行われ、調査時の年齢が「65歳未満の患者さん」の数は全国で3万5,700人存在すると報告されましたが、その時点で「65歳を過ぎて闘病されている患者さん」も同数程度確認されましたので、実際は若年発症の患者さんが全国で7万人前後いることになります。

## Topics

- ・2月フォーラム
- ・委員会の報告
- ・各地の会員団体の紹介
- ・後書き

## 2月フォーラム

### 第12回全国若年認知症フォーラム in 広島

日時 2022年2月20日(日)10:00~16:00

場所 広島県医師会館 〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里3丁目2-3

内容 オンライン形式(参加費無料、後日アクセス先を会員に連絡します)

<第1部> 10:00~12:00

- ① 若年性認知症施策の方向性 厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課 谷内一夫氏
- ② 認知症疾患センターの取り組み 広島市西部認知症疾患医療センター 岩崎庸子先生
- ③ 一般社団法人全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会の取り組み 代表理事 宮永和夫

<第2部> 13:00~16:00

- ① 当事者グループの活動発表
- ② 家族支援のあり方
- ③ 社会と繋がっていくために(リレートーク)

主催:一般社団法人全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会

共催:第12回全国若年認知症フォーラム in 広島 実行委員会

協力:広島県

後援:厚生労働省、アクサ生命保険株式会社 広島支社、その他。

### 第13回 全国若年認知症フォーラム in 大阪・東大阪 開催予定

日時 2023年3月19日(日)

場所 東大阪市文化創造館 (大阪府)

## 若年認知症フォーラムに関する協賛金のお願い

上記の内容で、若年認知症フォーラムを開催予定です。広島県内の関係者の一部の方々と全国協議会の代表理事と事務局の数名は広島県医師会館に参集しますが、全国協議会会員及び関係者はオンラインで参加して頂こうと思っております。前回の三重大会の際は、全国各地より現地に参加頂き、相互交流して頂いたのですが、コロナ感染症が収束していない状況のため、今回はハイブリッドで現地とオンラインの全国発信の形になります。そのため、前回までのように、資料代等を集めたり、地元での寄付金や補助金を大々的にはお願いできない訳です。そのような理由で、資料代が無料になった分や地元からの協賛金の補助に、各団体や個人に協賛金をお願いしようということになりました。

是非趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

①協賛金 1団体 3000円。

なお、別途篤志家や賛助会員による寄付も令和4年3月末まで受付させていただきます。

②振込先 一般社団法人全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会

●郵便局口座 ○九一(091)当座 0515639 一般社団法人全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会

●銀行口座 三菱UFJ銀行 新宿支店 普通 0701842 一般社団法人全国若年認知症家族会・支援者連絡協議会

現在までの寄付金報告(合計 1,610,000円)

・宮永和夫 ・梅原早苗 ・シルバーウイング様 ・上毛病院様

## 委員会の報告

### 統括委員会

メンバーは8名。月1回、フォーラムや対外交渉などZoomで意見交換を行っています。

今回、新しいリーフレットを作成しました。優しい色合いになっています。会の新たな思いを、ご家族やお知り合いの方にお届けください。

### 調査・研修委員会

(一社)全国若年認知症協議会は22年春よりファイザープログラム「新型コロナ下における会員の活動実態調査」を実施します。先進活動事例・当事者発言と併せ、23年春「報告書&活動実践マニュアル」を発刊します。

### 家族会支援・相談委員会

家族会をしたいけど、どのようにしたら良いかわからないと思っている方に立ち上げのための相談を受け、参考になるように事例集を作成。月1回開催しているZOOM会議に参加して頂き、顔を見て細かい内容についても話しが出来るようにしていきます。

### 産業・物流委員会

産業・物流委員会では若年性認知症の当事者がボランティアとともに活動を通して作成した商品の販売活動を通して若年性認知症への理解・認識の促進を図ります。会員団体及び当事者の継続的・経済的基盤の一助になるよう努める委員会です。

### 企画委員会

現在メンバーは7名。月1回のZOOMで企画を練っています。まずはフォーラム前に4年1月28日(土)19:00～予定でオープニングセミナーを企画。当事者と対談形式で「とわ子の部屋」も開催。楽しいセミナーを目指しています。

### 出版委員会

月1回の会合で、会報第2号を発刊するところまで来ました。また社団法人として初めての冊子「認知症ケア学(仮題)」の出版を、役員会で了承していただきました。1月から原稿依頼、9月完成で取り組んでいます。

## 各地の会員団体の紹介

# 彩星の会

2021年9月に会発足20周年を迎えることができました紙面をお借りしまして多くの方々に厚くお礼申し上げます。

近年の安定した財政運営は、\*家族会員(123名)と賛助会員(71名)のおかげであります。特記すべきことは、賛助会員数が家族会員の半分以上もあることです。これも、ひとえに先代の人脈の賜物と感謝しております。

今期の世話会は最強の人財が揃ったこともあり、多くのクリーンヒットができました。ご紹介させていただきます。会報誌がカラー化で読みやすくなり、また20周年記念誌も想定外の増版となりました。毎週火曜日のWEBサロンは介護者の癒しの場として定着化しております。そしてNHK厚生文化事業団より大きな賞をいただいたことです。来年は会報を三つ折りではなく全紙でお届けする計画でございます。むろん、彩星の会が「温かい家族会」として、基本の活動にあることはむろんでございます。今後ともよろしくお願いいたします。



20210129 【Web勉強会】●Zoom25名参加者の画像【25名】



20190526 【新宿御苑】◎集合写真(参加者多数名簿あり)

「あしたば会」は、若年性認知症のご本人とご家族の相互交流を深め、様々な情報を共有できる場づくりを目指しています。(社福)東京栄和会なぎさ和楽苑の若年性認知症支援事業の側面から事務局を担い、家族同士の毎月の定例会、若年性認知症カフェ「あしたばカフェ」の運営、若年性認知症の親を持つ子ども世代のつどいなど、本人、家族、ボランティア、専門職と共に活動を行っています。コロナ禍によるオンラインの実施は、家族会やカフェ開催にも工夫をし、遠方で活動している他の家族会や若年性認知症デイサービスの利用者同士、また、職員同士の情報交換等思いがけず幅広い取り組みになりました。今年7月からは相談窓口を開設し、専門職だけでなく本人、家族、ボランティアも含めたあしたば会の強みを生かした取り組みにチャレンジしています。

### 連絡先

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西8-1-1

社会福祉法人東京栄和会 なぎさ和楽苑内 あしたば会

電話 03-3675-1201

Mail [ashitaba@tokyoeiwakai.or.jp](mailto:ashitaba@tokyoeiwakai.or.jp)

HP <http://www.tokyoeiwakai.or.jp>



# あしたば会

# 老いを支える 北九州の会

私ども、「NPO 法人 老いを支える北九州家族の会は、特別養護老人ホーム、「サングリーンホーム」のデイサービス利用者の交流会をきっかけに、高田芳信前理事長(現顧問)の声かけで「デイサービス家族の会」を1994年(平成6年)に創立。

1996年(平成8年)には、名称を「老いを支える北九州家族の会」(以下、家族の会)に変更し、誰でもが入会出来る団体としました。2015年(平成27年)には、今後の継続的な運営を見すえ、「NPO 法人」格を取得。現在、会員数 550 人、5 支部が出来ており、各支部での活動も盛んであり、【家族の会】設立は 27 年となりました。

認知症の人を介護する苦労は、経験した人でないと理解出来ないと思います。それだけに、同じ悩みを抱える介護家族同士の交流はとても大切です。我々【家族の会】は、認知症ご本人や介護家族の方たちの悩みや苦しさを共有すると共に、介護問題を社会に発信していくことを目的に活動しています。具体的には、認知症・介護家族コールセンターの運営<市委託>および認知症介護家族交流会・若年性認知症介護家族交流会<市委託>の定期的な開催のほか、会報誌サンドリームの毎月発行、認知症勉強会の実施などや、保健・福祉・医療関係者との連携に努めながら、認知症になっても障がいをもって、地域で安心して生活ができるまち、社会を目指して活動を続けています。

2020年2月、家族の会25周年記念事業の、第2弾として講演会【いっしょに向き合う家族の心をも大事にしたい】NHKハートフォーラム開催<NHKと共催>第1部 基調講演【認知症をもって生きる】講師は、松本一生氏 第2部 パネルディスカッションでは、松本一生氏を助言者に交えて、コーディネーターおよび5人のパネラーの全員は、【家族の会】の会員であり、コーディネーターの進行で、パネラーの方々が自らの介護体験や活動を発言しました。また、会場からの質問やパネラー相互のやりとりが行われました。

〒804-0061

北九州市戸畑区中本町3番10-207号

TEL:093(882)5599

FAX:093(882)5622

E-Mail:6888aipv@jcom.home.ne.jp



## 後書き

今年もあと残すところわずかとなりましたが、皆さまはこの1年どのような思いで過ごされましたでしょうか。「コロナが収束して欲しい」そんな思いを誰もが持ちながらの日々であったのではないのでしょうか。これまでの「当たり前」であった日常が様変わりし、戸惑い、不安、疑問、怒り等ネガティブな感情に心がつぶれそうになりながら、それでも「なんとかしたい」そんな気持ちで皆が踏ん張ってきた1年であったように思います。

この年末年始は、久しぶりに帰省することや懐かしい友人と会うことも可能になるかもしれません。「家族であること」や「絆」をかみしめながら…見守ってくれる、応援してくれる大切な人と一緒に新年を迎えたいと願っています。

三重県 家族みまん 山路